

日経ウーマノミクス・プロジェクト「2021 シンポジウム」に参加しました。

日経ウーマノミクス・プロジェクト実行委員会(日本経済新聞社)主催の学生・高校生応援イベント、「2021 シンポジウム Are you ready? SDGs が拓く未来」(2021年7月13日)の大学生 SDGs 座談会・コンテスト部門に、産研の女子学生メンバーが大阪大学の代表として参加し、見事「三洋化成工業 優秀賞」を受賞しました。大井 彩裕美さん(産研・工 M2、家研究室)、宇都宮 桜さん(産研・工 M1、家研究室)、He Yuntingさん(産研・生命機能 M1、永井研究室)がチーム「asiam-アザイム-」を結成し、産研協働推進チームの服部 梓准教授らの強力なサポートを受け、学内で SDGs に関する勉強会やミーティングを重ね、議論を行い、SDGs の目標を理解し、課題を探求してきました。所内からは所長、戦略室、広報室、学内からは社会ソリューションイニシアティブ(SSI)の伊藤 武志教授、男女協働推進課からの協力をいただきました。

コンテストでは、「As I am. 日々の暮らしの中で、自分らしくアクションを!」と題して、各メンバーの産研で行っている最先端の研究成果を紹介し、これらのクリーンエネルギー研究を起点に世界の環境問題の解決を目指すことを提示しました。SDGs の目標達成のためには、多くの人が正しく認知し、具体的な行動につながることを重要であるため、SNS での発信、学内外でのプロモーション等、チーム「asiam」で積極的に広報も行ってきました。発表では、「いいね!の世界のために私たち一人一人がムーブメントを起こそう!」と力強く呼びかけました。自分たちの研究を起点にした、非常にわかりやすくまとまった発表であったことが評価され、受賞につながりました。

受賞の報告のため関野 徹所長を表敬訪問した折には、「ダイバーシティに富んだ最先端の研究が高く評価されたとのこと、産研らしさが存分に発揮されうれしく思います。」とお言葉をいただきました。

また、西尾 章治郎総長を表敬訪問した際には、社会と共創による「生きがいを育む社会」の創造という本学の理念の中での産研チームの活躍をお喜びいただき、「本学では SDGs を人類の未来を構想するための重要な道標と位置づけ、社会の様々なステークホルダーと協働するためのグローバルなプラットフォームと捉え、研究活動を積極的に展開しています。引き続き、皆さんの精力的な活動に期待しています。」と激励をいただきました。

産研では、これからも産研協働推進チームを中心にして、ダイバーシティ&インクルージョンの推進活動を積極的にすすめ、より良い社会の実現に貢献していきます。



